

# 予期しない妊娠に関する 相談窓口 「にんしんSOS埼玉」 の 相談体制について

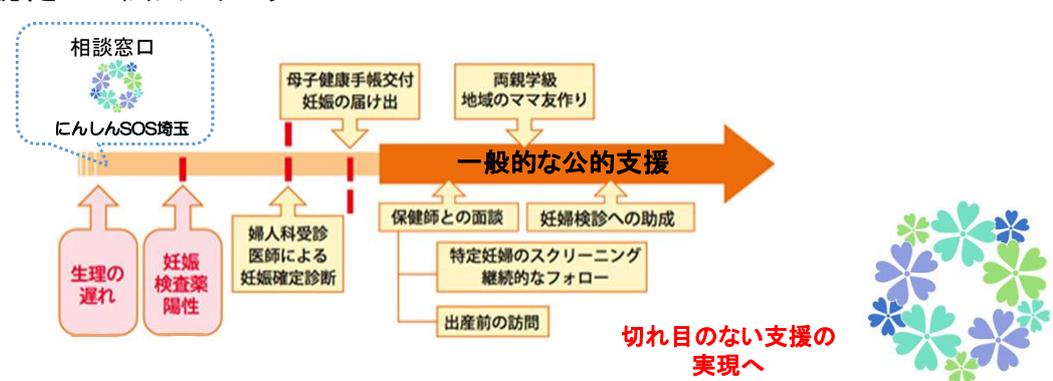
埼玉県保健医療部健康長寿課 母子保健担当

1

## 「にんしんSOS埼玉」について

予期せぬ妊娠相談窓口として平成30年7月に「にんしんSOS埼玉」を開設

【相談方法】電話相談・メール相談  
 【相談日時】年中無休、電話相談は16時～24時（受付は23時まで）  
 【委託先】認定NPO法人ピッコラーレ



切れ目のない支援の実現へ

2

# 「にんしんSOS埼玉」について

## <相談実績>

| 年度    | メール相談(件) | 電話相談(件) | 合計(件) |
|-------|----------|---------|-------|
| H30年度 | 758      | 337     | 1,095 |
| R1年度  | 1,601    | 630     | 2,231 |
| R2年度  | 1,911    | 551     | 2,462 |
| R3年度  | 1,757    | 837     | 2,594 |
| R4年度  | 1,584    | 648     | 2,232 |
| R5年度  | 1,348    | 614     | 1,962 |

R5年度  
初回相談実人数  
電話:366人  
メール:273人  
計:639人

- ◆相談件数は年間2,000件前後で推移している。
- ◆相談延べ件数では、電話に比べメール相談が2倍以上になっているが、初回相談の実人数は電話が多い。  
→電話相談は単発で終わる傾向がある



3

# 相談窓口における24時間体制の検討

## <現状>

【電話相談】 16時から24時(相談受付は23時まで)

【メール相談】 24時間受付

|       | メリット   | デメリット   |
|-------|--|---|
| 電話相談  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・不安や疑問に対する回答がすぐに得られる。</li> <li>・相手の声の調子から、状況をアセスメントすることができる。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の相談手法に比べ、いたずらが多い。</li> <li>・不安が強い場合など、1件の相談が長時間にわたることがある。</li> </ul> |
| メール相談 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者が自分のタイミングで相談し、回答を確認できる。</li> <li>・支援者が複数人で対応を検討し、回答することができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・やり取りに時間がかかる。</li> <li>・相談者からの返信が途中で途絶えることがある。</li> </ul>              |



4

## 委託事業所への確認

委託事業所(認定NPO法人ピッコラーレ)へ意見聴取

(R6.10.30)

相談員及び事務局職員より

現状の体制で、相談支援の体制はできており、電話相談を24時間体制にする必要性は感じていない。

「相談のしやすさ」という観点では、にんしんSOS東京において、無料通話やチャット(LINE)による相談を導入している。

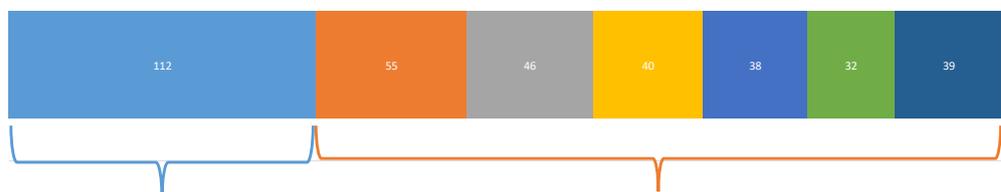


5

## 「にんしんSOS埼玉」相談内容の分析

電話相談における時間別相談件数(R5年度)

■ 16時台 ■ 17時台 ■ 18時台 ■ 19時台 ■ 20時台 ■ 21時台 ■ 22時台 ■ 受付時間外



16時台は  
全体の約3割

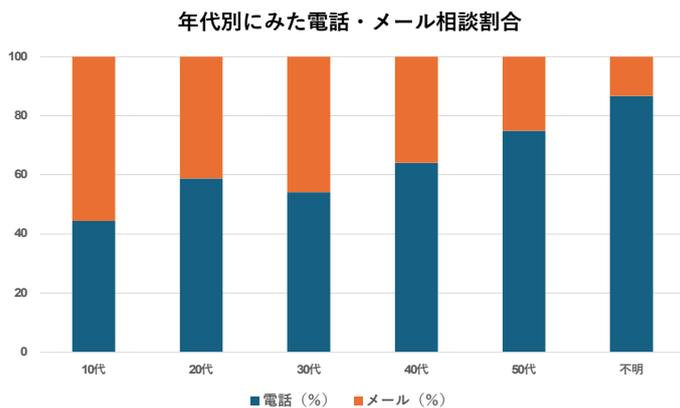
それぞれ10~15%  
時間による大きな差はない



6

## 「にんしんSOS埼玉」相談内容の分析

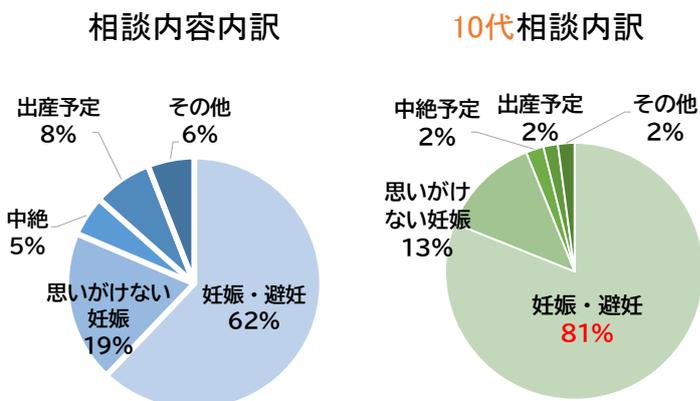
### 相談ツール別にみた年代ごとのニーズ(R5年度)



- 年齢が上がるにつれ、電話相談の割合が増える傾向にあるが、10～30代においては、同率に近い割合であった。
- 相談ツールとしては、**電話もメールも有用**。
- 自治体によって、電話・メール・SNSの相談割合の比率は様々。
- 若い世代が慣れ親しんだSNS等のツールを活用することも効果的ではないか。

7

## 「にんしんSOS埼玉」相談内容の分析



- 最も多い相談内容は「**妊娠したかもしれない・避妊に関する事**」
- 10代においては**約8割**を占める。
- 10代の相談のうち、妊娠の可能性が極めて低い行為であっても、生理の遅れなどから不安を感じ、助言を求める相談が4割

8

## 「にんしんSOS埼玉」相談内容の分析

緊急性の高い(早期に支援介入を要する)相談内容への対応

- 未受診のまま妊娠週数が経過しているケース
- 経済的困窮や家族やパートナーとの関係の不和からインターネットカフェや友人宅を転々としている居所が不安定なケース
- アフターピルの使用に関する相談



**将来的な飛び込み出産、産み落としのリスク**



9

## 「にんしんSOS埼玉」相談内容の分析

### 1. 未受診のまま妊娠週数が経過しているケース(例)

例1

思いがけず妊娠してしまった女子高生。誰にも相談できず、未受診のまま経過。  
妊娠後期に初めて「にんしんSOS埼玉」にメール相談。

例2

妊娠判明するも、本人・パートナーともに経済的余裕がなく、中絶費用が捻出できず未受診のまま日数が経過。



- にんしんSOS埼玉の相談員から、各市町村のこども家庭センター等へ**情報提供**
- 市町村の保健師等による面談を実施→医療機関の**受診調整**  
生活保護などの**福祉サービスの案内**
- にんしんSOS埼玉の相談員や市町村職員による**同行受診**の実施



10

## 「にんしんSOS埼玉」相談内容の分析

### 2. 経済的困窮や家族やパートナーとの関係の不和から、インターネットカフェや友人宅を転々としている居所が不安定なケース(例)

例1

風俗店勤務の女性。妊娠判明後、職場の寮を追い出されてしまい、友人宅に身を寄せている。仕事もなくなり所持金が尽き、受診できず。

例2

家族とは疎遠で頼れる親族や友人もない女性。妊娠判明後、パートナーとのトラブルで家を飛び出し、インターネットカフェを転々として過ごしている。



### 「妊婦緊急一時受入れ事業」の開始(令和6年度～)

居場所等に困難を抱える妊婦に対して、緊急一時的に安心して生活できる居所を確保し、食事提供、妊婦健康管理、保健指導等の支援を行う。  
妊婦が緊急一時的な居所利用中及び利用後も市町村が支援を継続する。



11

## 「にんしんSOS埼玉」相談内容の分析

### 3. アフターピルの使用に関する相談

SNSやホームページによる正しい知識の啓発

X(旧Twitter)

アフターピルって何?



アフターピルは、避妊の失敗などがあったときに、**性行為の後から避妊**をするためのものです。

性行為後72時間以内に服用することで、高い避妊効果が期待できます。  
(※性行為後120時間以内に内服するタイプのお薬もあります。)

アフターピルを入手するには、医師から処方してもらう必要があります。

避妊に失敗したかも

性行為のことをちゃんと覚えていない…



アフターピルは、避妊の失敗などがあったときに、**性行為の後から避妊**するためのものです。

Instagram

性行為後120時間以内に内服するタイプのお薬もあります

性行為後72時間以内に服用することで、高い避妊効果が期待できます。

アフターピルを入手するには、医師から処方してもらう必要があります。



12

## 今後の対応



現状の相談体制の中で、引き続き相談者の想いを丁寧に聞き取り、関係機関と連携しながら支援を継続していくことが重要。SNSなど若い世代が慣れ親しんだツールによる相談体制についても今後検討していく。

- ◆市町村や医療機関等との**連携**により、**切れ目ない支援を実施**
- ◆学校教育等の場における、性と健康に関する**正しい知識の普及啓発**
- ◆助産師や保健師等を対象にした、プレコンセプションケア普及啓発のための**研修会**の開催

